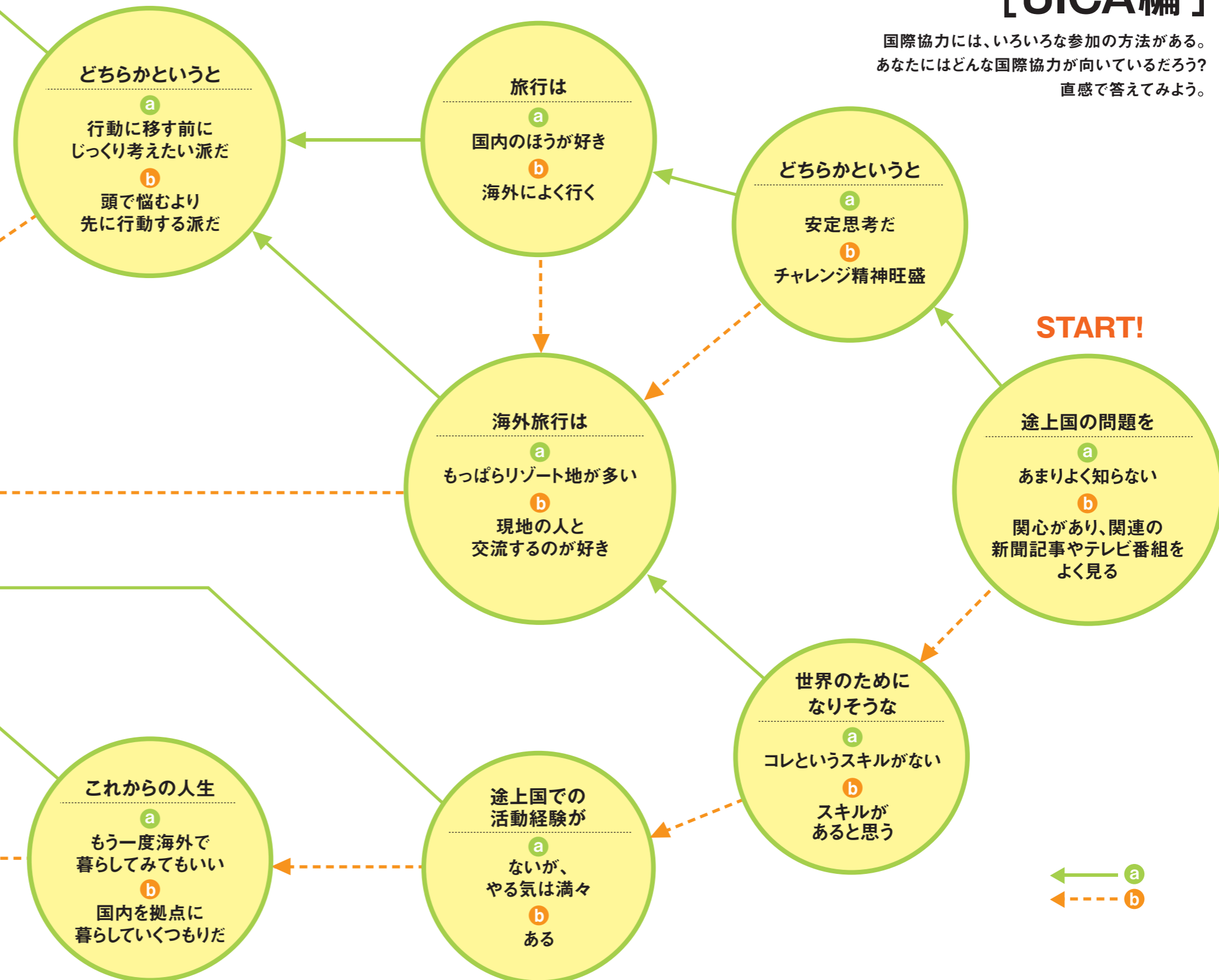




自分にピッタリの国際協力を見つけよう

[JICA編]

国際協力には、いろいろな参加の方法がある。
あなたにはどんな国際協力が向いているだろう？
直感で答えてみよう。



開発途上国の課題を知ろう

>>事例はP12へ

STEP 1

国際協力初心者の方。まずは、途上国が抱えているさまざまな問題を知ることから始めよう。JICAでは、経験者の話を聞きながら楽しく学んだり、国際協力を実際に体験できるプログラムなどを用意している。

具体的には...

- ・JICA地球ひろば／なごや地球ひろば
- ・JICA国際協力出前講座
- ・JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
- ・教師海外研修
- ・開発教育指導者研修
- ・国際協力実体験プログラム

(詳しくはP10へ)

国内でできる国際協力を始めてみよう

>>事例はP14へ

STEP 2

困っている人を見ると放っておけないあなた。寄付やボランティアなど、普段の生活の中でできることからやってみよう。JICAは、募金と物の寄付を受け付けているほか、各都道府県に相談窓口を設けている。

具体的には...

- ・JICA基金
- ・「世界の笑顔のために」プログラム
- ・ジュニア地球案内人
- ・国際協力推進員に相談してみる

(詳しくはP11へ)

海外で国際協力をやってみよう

>>事例はP16へ

STEP 3

やる気と行動力のあるあなた。途上国に出て、人々と触れ合いながら国際協力に取り組んでみよう。JICAは、人材育成から活動中のサポートまで、海外での国際協力をバックアップするプログラムを提供。また、退職せずにJICAボランティアに参加するためのサポートや、帰国ボランティアの進路開拓を支援している。

具体的には...

- ・JICAボランティア
(青年海外協力隊／シニア海外ボランティア)
- ・草の根技術協力事業
- ・組織力アップ! NGO人材育成研修
- ・国際協力担当者のためのPCM研修

(詳しくはP11へ)

国際協力の経験を日本で生かそう

>>事例はP18へ

STEP 4

国際協力経験者のあなた。今後はその経験を日本国内のまちづくりや地域活性化に生かしてみよう。グローバル化に伴い、日本で暮らす外国人が増える中、文化や価値観の違いによって日本での生活になじめない人々も多い。青年海外協力隊などまさに異文化の中での活動経験は、日本国内の多文化共生やまちづくりに役立つはず。JICAは、協力隊OB会の支援などを通じて、途上国の経験を日本に“還元”する取り組みをサポートしている。